

# illustratorフォントをアウトライン化する方法

一度アウトライン化の処理を行った場合、再びテキストの状態に戻す事が出来ません。修正などが必要になる時の為に編集可能なデータをお客様自身で保管して下さい。

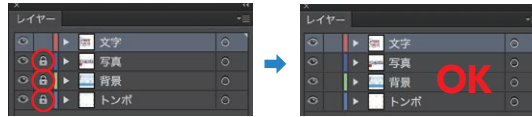
## 1 すべてのロックの解除

ドキュメント上のすべてのオブジェクトを選択できるように、ロックを解除します。

### 1.すべてのレイヤーのロックを解除

レイヤーのロック解除

鍵マークをクリック → [ロックを解除]

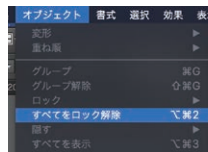


### 2.すべてのオブジェクトのロックを解除

すべてをロック解除

オブジェクト / すべてをロック解除

※ロックされているオブジェクトが無い場合は選択できません

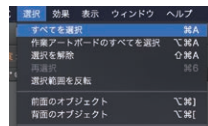


## 2 アウトラインを作成します

すべてのフォント・オブジェクトを選択した状態で、フォントのアウトラインを作成します。

### 1.すべてのオブジェクトを選択してください。

選択 / すべてを選択

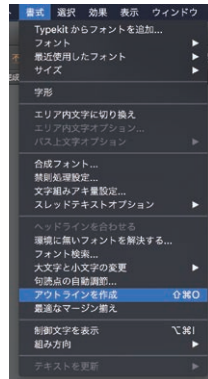


### 2.フォントのアウトライン化

すべてのオブジェクトを選択した状態で変換します

書式 / アウトラインを作成

文字が図形化します



アウトライン化前は、フォントが編集できる状態です



アウトライン化すると、フォントがパスオブジェクトになります

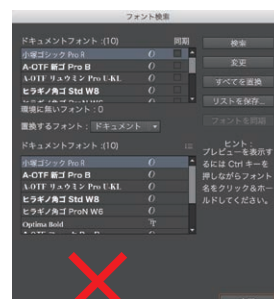
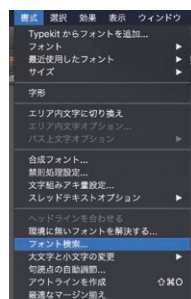
## 3 アウトライン化に漏れがないか確認します

### 書式/フォント検索

フォント検索をして、フォントが見つかった場合はアウトライン化できていないフォントが残っています。

フォント情報が0になっている場合は、アウトライン化が正しく行われています。

何も出ていなければOKです **完了をクリック**



アウトライン化ができていない場合は、ドキュメントのフォント内にフォント名が表示されます



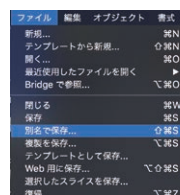
何も出ていなければOKです

## 4 aiデータを別名保存します

アウトライン化したフォントは、文字を打ち直したり編集することが不可能となります。アウトライン化後のデータは、必ず別名で保存してください。

### ファイル/別名で保存

ファイル名を [mote\_OL.ai] など OL(アウトライン)としておくと、後で判断しやすくなります。



## 5 別名で保存したファイルを送って下さい。